

平成 18 年度 秋期 システムアナリスト 午後 出題趣旨

この出題趣旨は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問 1 〔出題趣旨〕

システムアナリストは、情報システム投資の中長期計画を策定することが求められる。その際、経営課題や経営環境の変化、経営戦略などを適切に理解し、情報システム投資の優先順位を明らかにしなければならない。

本問は、情報システム投資の中長期計画の策定に当たり、情報システム化案件をどのような観点で総合的に評価し、投資額や優先順位を決定したかについて、具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、システムアナリストに必要な情報システム投資の中長期計画の策定に関する能力や経験、洞察力などを評価する。

講評

問 1（情報システム投資の中長期計画の策定について）は、全社的な情報戦略や情報システム計画を策定した経験のある受験者には、具体的な論述がしやすかったようである。経営戦略を踏まえて、情報システム化案件を総合的に評価し、投資額や優先順位を決定するために工夫した点を論述することを期待したが、題意とは異なり、個別システム開発の経験や情報システム化案件の評価結果だけの論述も見受けられた。

\* ----- \*

問 2 〔出題趣旨〕

昨今、競争力強化のために、IT を活用してビジネススピードを向上させるなどの業務プロセス再設計に取り組むようになってきている。その際、システムアナリストは、業務プロセス再設計に貢献する情報システム化案を作成しなければならない。

本問は、競争力強化のための情報システム化案の作成について、業務プロセス再設計で重要と考え工夫した点とともに、具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、システムアナリストに必要な業務プロセス再設計、及び情報システム化案の策定に関する能力や経験、洞察力を評価する。

講評

問 2（競争力強化のための情報システム化案の作成について）は、最も多くの受験者が選択した。期待どおり、事業の競争状況及び事業の課題を理解し、競争力強化のための情報システム化案について論述したものが多かった。しかし、事業の競争力強化と情報システム化案の関連があいまいな論述や、業務プロセス再設計における工夫が乏しい論述も多かった。

\* ----- \*

問 3 〔出題趣旨〕

近年、グループ全体での業務統合や企業合併に伴う業務統合など、広い範囲での業務統合が増え

ている。システムアナリストは、このような業務統合において、現状の業務やシステムを分析し、システム化計画を策定しなければならない。

本問は、業務統合におけるシステム化計画の策定について、業務統合の目的達成のために重要と考えた点を中心に具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、システムアナリストに必要なシステム化計画の策定に関する能力や経験、洞察力を評価する。

#### 講評

問 3（業務統合におけるシステム化計画の策定について）では、事業統合におけるシステム化計画策定を経験していることがうかがえる論述が多かった。業務統合の目標達成のために工夫した点を論述することを期待したが、システム開発における工夫の論述や、目標達成のための施策や勧め方が一般的であり、工夫した点とは言い難い論述が多かった。

注：この出題趣旨に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。